

2026年3月19日

2026年春季経済交渉について

日本酸素ホールディングスグループの日本産業ガス事業会社である大陽日酸株式会社(本社:東京都品川区 社長:永田研二、以下「当社」)は、大陽日酸労働組合との間で実施していた2026年春季経済交渉(組合員の賃金改定)において、下記の通り、妥結致しましたので、お知らせします。

- ・ ベースアップ 組合員1人平均で月額18,000円(5.17%)
- ・ 制度昇給を含む賃上げ総額 組合員1人平均で月額25,700円(7.39%)

この結果、2022年度から5年連続のベースアップ実施となり、5か年累計で月額60,500円の賃金改善となりました。制度昇給を含めた総賃上げ率は、2021年度比で約21%の増額となります。

また、組合員の本賃金改定にあわせて、管理職社員についてもベースアップを実施いたします。若手層を含めた人財の処遇改善を進めつつ、社員全体の賃金水準の底上げを図るとともに、組織の成果創出および人財育成を担うライン管理職(課長・部長クラス)については、その役割と責任の大きさを踏まえ、処遇の充実を図ります。これらの取り組みにより、2026年4月より開始する新中期経営計画の達成に向け、全社一丸となった推進力の強化、および人財の定着・エンゲージメント向上を図ります。

当社グループは、「人への投資」を経営の重要施策の一つとして位置付けています。現在、DXの進展や少子高齢化による労働力人口の減少、価値観の多様化など、事業環境は大きく変化しており、従来の延長線上では対応が困難な局面を迎えています。

このような環境下において、当社グループが持続的に成長していくためには、「人財こそ最大の資本」との認識のもと、人的資本経営のさらなる高度化が不可欠であると考えています。この考えに基づき、人事領域における重点課題を以下の5つの柱として推進します。

- (1) 社員の潜在性・可能性を引き出す 『キャリア共創』
- (2) 人財を最適に配置する 『適材適所』
- (3) 心身ともに健康で働きがいを高める 『ウェルビーイング』
- (4) 多様な人財が活躍できる環境整備 『DE&I (Diversity, Equity & Inclusion)』
- (5) 未来を支える人財の確保・育成 『採用・育成』

これらの取り組みを通じて、個の尊重と成長、組織の共創と成長を行い、持続的な企業価値の向上および魅力ある会社の実現を目指します。

【会社概要】

大陽日酸株式会社

事業内容：酸素・窒素・アルゴン等各種産業ガス、LP ガス、医療用ガス、特殊ガスの製造・販売及び溶断機器・材料、各種ガス関連機器、空気分離装置の製造・販売、電子部品の組立・加工・検査、設備メンテナンス

創業：1910年10月30日

設立：2020年2月4日

資本金：15億円

株主：日本酸素ホールディングス株式会社（出資比率 100%）

売上収益：4,268億円（2025年3月期大陽日酸グループ連結）

※大陽日酸株式会社は2026年4月1日に日本酸素株式会社へ社名を変更します

本件に関するお問い合わせ
大陽日酸株式会社
東京都品川区小山 1-3-26
広報部
TEL:03-5788-8015
Mail:Tnsc.Info@tn-sanso.co.jp